

岐阜県庁舎の再整備に関するご意見と県の対応方針

No	主なご意見	対応方針
1	<p>【大地震等の災害に対する高い耐震性・安全性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災に耐えられる庁舎にしてほしい。 ・洪水に備えて、非常電源、通信など機械設備関係は、上層階にすべき。 ・電力や通信回線の二重化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大地震後に補修をすることなく使用できる耐震強度（法定の1.5倍程度）の確保を検討します。 ・電気、機械室は2階以上への配置を検討します。 ・電力、通信ルートの複数確保を検討します。
2	<p>【危機管理拠点機能の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な災害に備えて、危機管理をしっかりしてほしい。必要なスペースや設備など、必要なものは充実すべき。 ・災害時の指揮拠点は、関係機関の職員が一堂に会して活動できる広さが必要。 ・災害発生時等に仮眠等できる部屋や関係者の食料備蓄スペースの確保が大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設災害対策本部室の拡充、食料・物資備蓄庫等の整備を検討します。
3	<p>【適切なセキュリティ対策の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも容易に入れる現在の状況は見直し、一定のセキュリティを確保すべき。 ・書類の紛失や情報漏えいが心配であり、相談スペースを下層階に設け、執務室には自由に入れないなどセキュリティ対策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開放・制限ゾーンを明確にし、必要な入退室管理を検討します。
4	<p>【風格と親しみを併せ持つデザインの採用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誇れるような県庁にすべき。県のランドマークとなるような建物が良い。 ・ホールや応接室などの内装に県内産の木やタイルなどを、イスやテーブルなどの木製品も県内産のものを置くと良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要箇所に県内産の木材・石材・タイル・和紙・家具類等の使用を検討します。
5	<p>【利便性の高い、開かれた庁舎づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁舎下層階に開放スペースや大規模会議室、誰もが利用できる食堂やコンビニ等を設置し、県民が入りやすい雰囲気の庁舎とすべき。 ・時間調整や休憩ができる、カフェのようなスペースを充実してほしい。 ・展望室があると、人が来やすい開かれた県庁となる。 ・県民への情報発信を充実させるための機能は必要。 ・保育所や幼稚園、老人ホーム等を併設し、誰もが利用できるようにすると良い。 ・現庁舎は玄関が1階なのか2階なのか分かりにくいので、分かりやすくしてほしい。 ・車いす用トイレは各階に1つは必要。 ・高齢者に優しい気くばりのある施設としてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランスホール、県民相談・情報公開スペース、展望ロビー・カフェなどの設置を検討します。 ・利用者ニーズを踏まえ、保育所等の設置可能スペースの確保を検討します。 ・ユニバーサルデザインを考慮した誰もがわかりやすく使いやすい構造（シンプルな構造、多目的トイレの各階配置、分かりやすいサイン計画）を検討します。
6	<p>【動きやすい執務環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室や事務室等の柔軟な空調管理ができるようにしてほしい。 ・最適な環境にすれば、行政の効率化が進み県民のためにもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調のゾーニングによる適切な室温管理を検討します。 ・所属間の壁を廃し、連携に優れたオープンフロア方式の採用を検討します。

No	主なご意見	対応方針
7	<p>【再生可能エネルギー・資源の有効活用や省エネルギー・省資源対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内執務室、廊下が暗い。明るく、入りやすい雰囲気の庁舎とすべき。 ・駐車場に電気自動車の充電設備を設置してはどうか。 ・最新の省エネ設備で他県のモデルとなる建築物となると良い。 ・地中熱利用空調や廃熱利用システムなど、エネルギー利用の効率化が必要。 ・日照、風、地下水などを活用し、自らエネルギーをつくるゼロ・エネルギー・ビルとしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・吹抜け、庇、断熱ガラスなど構造上の工夫や、LEDなど高効率の設備機器の導入を検討します。 ・太陽光発電、自然採光、自然通風、地熱利用、地下水・雨水等の活用等を検討します。 ・ビルエネルギー管理システム導入による効率的なエネルギー使用を検討します。
8	<p>【長寿命な県庁舎づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代のニーズに合った庁舎とするため、スペースは余裕を持って建築すべき。 ・新庁舎は、長期間使用できる将来を見据えた建物にすべき。 ・現在の設備を運用しながら更新するためのスペースの確保が必要。 ・空間の用途変更や将来的な増築等への対応の容易さなどの他、空調など設備改修の容易さなどの観点からも検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造体は、100年以上使用できる優れた耐久性の確保を検討します。 ・構造体と設備・内装を分離し、メンテナンス・更新が容易な構造の採用を検討します。 ・各室を他用途にも転換できるよう検討します。